

秋を味わって歩く 笹子鷹ガ腹摺山～お坊山

実施日 平成17年10月22日(土)
 天候 曇ノ一時小雨
 リーダー 涌井 良明
 参加者 上野キヨ、斎恵美子、櫻井司朗、渡辺清、
 一柳昭、岩井康子、小池述史、村上佐知子、馬場清士、福島政幸 計11名
 コースタイム JR高尾駅(7.10～7.25列車)笹子駅(8.30～8.40)登山口(9.12～9.17)鉄塔(9.36～9.15)休憩(10.10～10.15)笹子鷹ガ腹摺山(11.00～11.11)米沢山(12.10～12.46 昼食)お坊山(13.24～13.35)大鹿峠(14.04～14.15)景德院(15.10～15.13)JR甲斐大和駅(15.17～15.30列車)
 費用 JR・ホリデーパス2,300円 大月 笹子230円/甲斐大和 大月320円/景德院 甲斐大和駅100円 計 2,950円

今月は天候に恵まれない山行が多いが、ご多分に漏れず天候はイマイチだったが、歩くには暑くなく寒くなく、予定通りしっかり歩けた山行だった。

笹子から、国道を甲府方面に40程で旧道へ分かれると、すぐに笹子鷹ガ腹摺山登山口になる。

薄い杉の植林帯から、30分程で鉄塔のある台地に着き、右に尾根上の急登となる。木の葉を叩く雨音も聞こえたりして、ちょっと心配だが、樹林帯なので殆ど濡れることはなく、体を持ち上げる動作を繰り返す、右手にぼんやり笹鷹本峰が見え、1188mピークから右へ折れ、僅かで本峰の登りにかかる。アキレス腱が痛く感じるほどの急登であるが、右に電波反射板を見ると僅かで笹子鷹ガ腹摺山に着く。雨は止みかけておりホットする。

狭い山頂の割にはにぎやかな標柱が出迎えてくれた。近くの山並みは望めるが、富岳12景の富士山はこの天候に乗り、勿体ぶって雲隠れである。また、南アルプス方面も何もないカンバス状態である。これから向うお坊山方面は姿を見せているが、切れ込みを挟んで立ち上がっ



ている様は、お前らしっかり歩けよ！と言われていたようである。先が長いので、斎さん差入れのりんご(果物は格別ですね)と当方持参の唯一の副食(そうです今

回は行程に恐れをなした軟弱者は皆様への振舞いココアを甘納豆でごまかしたのです)で軽くエネルギー補給して、笹鷹を後にする。

直ぐに、いきなりの急下降である、濡れた落ち葉に隠れた小石や木の根が罌を張



る道である、それならこっちは張ってある固定ロープや枝を掴むことで罌に対抗しながら、下って行く。下りき



ると、両側がやや痩せた尾根を辿るようになる、米沢山までがコースの核心部であり、それほど長くはないが登ったり下

ったりの傾斜は結構きつ



こたえる道である、所々色付いた木々が慰めてくれるが、この時期にしてはまだまだ緑が優勢である。米沢山手前の小ピークで左に向きを変え、鎖の付けられた岩場をヨッコラシヨと乗越したりして、丁度1時間を費やして米沢山に着いた、この頃は、我パーティの毒気?に気後れしたのか空も少し明るさを増した様な感じである。木々に囲まれてはいるが、見通しもある気持ちの良い山頂で、時間も良く昼食を広げる。

薄ぼんやりとだが、雪化粧が目立ち始めた富士山も姿を見せ、改めてデカさを感じる。

腹も満たされ、お坊山に向う、直ぐにまた下ってから登ることになるが、これまでよりは傾斜も緩く多少歩き易くなったようである、ピークを1つ越した先が今日3個目の山頂のお坊山だ。これでは下りモードに切り替えである。お坊山から数分で尾根直進と東峰方面への巻道



の分岐になり、どちらも大鹿峠を示す道標がある。我々は直進ルートの方へ下る。しばらくで巻き道ルートに合流するが、その先、道は右に直角に曲がり、

尾根から一旦離れるように下るのだが、尾根伝いにも進めるので積雪時などは直進してしまう場合が多いかもしれない。尤も尾根を外さないで下れば巻いて来た正常ルートに合流できるが、山慣れていないと不安を感じる場所かもしれない。狭まった尾根を下りきって大鹿峠だった。右に笹子、直進方向右は南大菩薩縦走路、左が田野へのルートである。田野への道を取り、鉄塔手前から左へ天狗尾根を下る。送電線巡視路でもある道は、整備され歩きやすい。この頃は薄日も差し、逆光に輝く色付きなども愛でながら、ノンストップで快調に下る。

神社を過ぎ、食害防止の柵を抜けると民家の庭先を通り、舗装路へ、右に数分で景德院のバス停に出る。15時10分着、なんと、大鹿峠から1時間かからず下りきり、素晴らしい歩きでした。おかげで15時13分発のバスに間に合い、40分の歩きを4分のバスの旅に短縮、甲斐大和発15時30分の列車に乗る。八王子での反省会も盛り沢山?で、イマイチの天候を補って余りある充実した山行だった。皆さん、オツカレ、アリガトネ。